

11. 全日本花卉品種審査会の概要 –トルコギキョウ–

1. 背景とねらい

全日本花卉品種審査会は、花き産地の維持と発展に寄与するため、地域のニーズに沿った品目、販売品種または育成途上の品種について、実地栽培による比較審査を全国から選ばれた公的機関で行い、優良品種の選定や種苗会社における育種力と採種技術および種子品質の継続的な向上を目的として実施されています。当センターは、2003 年から審査会を受託しており、ここでは 2014 年に実施したトルコギキョウ 10 月開花作型(図1)を事例として紹介します。

2. 成果の内容

- 1) 出品者である各種苗会社および複数の公設試験場の研究員が栽培圃場において審査を行います(図 2)。平均点が 80 点以上で一等に選ばれた品種は、農林水産大臣賞候補となります。
- 2) 今回の審査会では、一等特別賞として㈱M 社の「クラウンⅢブルー」、二等賞 2 点、三等賞 3 点が選ばれています(図 3)。これらの品種・系統は、広島県の 10 月開花作型への高い適性を有していると考えられます。

3. 利用上の留意点

- 1) 審査結果は、花き専門誌上で公表されます。
- 2) 今回は、406 穴ペーパーポットへ播種後、吸水種子湿潤低温処理を 10℃の暗黒条件で 5 週間行い、その後になりゆきの温度で約 30 日間育苗し、本葉が 2 対展開した苗を 7 月下旬に定植しています。

(栽培技術研究部)

